（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　ヒトツナ金沢黒田教室		
○保護者評価実施期間	令和7年　1月　23日	～	令和7年　1月　31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）　6	（回答者数）	1
○従業者評価実施期間	令和7年　1月　23日	～	令和7年　1月　31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）　5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年　2月　15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・本人を真ん中にして、保護者・所属している・学校・相談支援専門員・他の事業所・場合により役所との連絡や情報の共有に努めている。	地域に開かれた事業所を意識している。地域のお友だちとの関わり（今の所出来ているのは公園くらいではあるが）を子どもたちの経験として良くも悪くもぐるっと巡り巡っての支援をしている。	それぞれの状況に於かれている子どもそれぞれのその時の気持ちを共有するような会議の提案をしている。
2	・地域資源の活用を極力している。	地域や、近場に在住の職員が多い。その分地域に根差した「お隣同士の近い支援」を意識している。ご近所さんとのかかわりが生じるイベントを年間通して計画している。	地域の行事に参加できたら良いと思いつつ、当該事業所が（月～金）の開所であるため、営業日外のイベントになってしまうため、なかなか成らない。
3	・子どもやその時に合わせた、集団療育をしつつも、各々に合わせたアプローチをするように支援している。	集団に向けての取り組みはもちろんのこと、そう見せかけて、実は個別のアプローチを、そう感じることなくチャレンジしている環境を意識している。職員同士・ご家族さまも巻き込んでの支援も意識している。	それぞれが所属している小学校との関係が良好であるよう意識している。何にしても、ご家族が主体の日々であるように意識している。我々は黒子である。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	会社・事業所が単体であり、関わる他の同系列の下にない。	県外に本社はあるが、地域性があるので、横の繋がりが希薄であるところ。	研修や、相談支援事業所繋がりでの人の輪を育ててゆくこと。
2	男性職員が居ない。	代表は男性ではあるが、若い手が居ない。	求人募集をかける。
3			